取扱説明書

ColorEdge®
CS2740-Z

カラーマネージメント液晶モニター

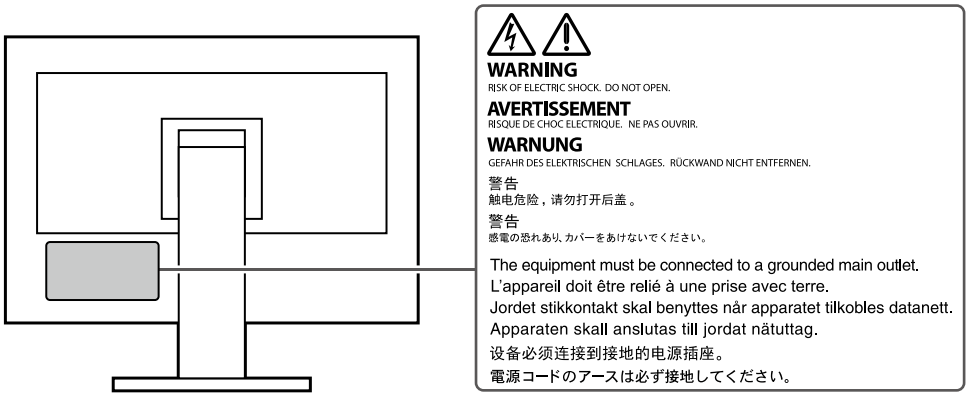
重要

ご使用前には必ずこの取扱説明書および使用上の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

- **モニターの設置 / 接続については、セットアップガイドを参照してください。**
- **取扱説明書を含む最新の製品情報は、当社のWebサイトから確認できます。**

  www.eizo.co.jp

警告表示位置



製品の仕様は販売地域により異なります。お買い求めの地域に合った言語の取扱説明書をご確認ください。

1.本書の著作権はEIZO株式会社に帰属します。本書の一部あるいは全部をEIZO株式会社からの事前の許諾を得ることなく転載することは固くお断りします。
2.本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
3.本書の内容については、万全を期して作成しましたが、万一誤り、記載もれなどお気づきの点がありましたら、ご連絡ください。
4.本機の使用を理由とする損害、逸失利益などの請求につきましては、上記にかかわらず、いかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

モニターについて

この製品は、文書作成やマルチメディアコンテンツの閲覧など一般的な用途の他、色の再現性を重視するグラフィック制作やデジタルフォト加工の用途にも適しています。

製品の仕様は販売地域により異なります。販売地域外での使用に関して、当社は一切責任を負いかねます。
This product has been adjusted specifically for use in the region to which it was originally shipped. If the product is used outside the region, it may not operate as specified in the specifications.

本書に記載されている用途以外での使用は、保証外となる場合があります。

本書に定められている仕様は、付属の電源コードおよび当社が指定する信号ケーブル使用時にのみ適用いたします。

この製品には、当社別売オプション品または当社が指定する製品をお使いください。

ラッカー系の塗料を使用した机にこの製品を置くと、スタンドの底面に使用しているゴムの成分により、色が付着する場合があります。ご使用前にご確認ください。

モニターの表示が安定するまでに、約30分（当社測定条件による）かかります。モニターの調整は電源を入れて30分以上経過するまでお待ちください。

長時間使用することによる画面品位の劣化を抑え、長くご使用いただくには、輝度を下げて使用されることをお勧めします。

同じ画像を長時間表示することによって、表示を変えたときに前の画像が残像として見えることがあります。長時間同じ画像を表示するようなときには、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。表示する画像によっては、短い時間でも残像が見えることがあります。その場合、画像を変更したり、数時間電源を切った状態にすると、解消されることがあります。

表示状態を長時間続けると、表示面に黒いシミやムラ、焼き付きが発生する場合がありますのでご注意ください。モニターを長くお使いいただくため、定期的にモニターの電源をオフにすることをお勧めします。

この製品を美しく保ち、長くお使いいただくためにも定期的にクリーニングをおこなうことをお勧めします（「クリーニングの仕方」（P.4）参照）。

液晶パネルは、非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素が見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。なお、有効ドット数の割合は99.9994% 以上です。

液晶パネルに使用されるバックライトには寿命があります。長時間連続使用など、ご使用状態によっては、バックライトの寿命が早まり、交換が必要となる場合があります。画面が暗くなったり、ちらついたり、点灯しなくなったときには、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

液晶パネル面や液晶パネルの外枠は強く押さないでください。強く押すと、干渉縞が発生するなど表示異常を起こすことがありますので取り扱いにご注意ください。また、液晶パネル面に圧力を加えたままにしておきますと、液晶の劣化や、液晶パネルの破損などにつながる恐れがあります。（液晶パネルを押した跡が残った場合、画面全体に白い画像または黒い画像を表示すると解消されることがあります。）

液晶パネルを固い物や先のとがった物などで押したり、こすったりしないようにしてください。傷が付く恐れがあります。なお、ティッシュペーパーなどで強くこすっても傷が入りますのでご注意ください。

この製品を冷え切った状態のまま室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、製品の表面や内部に露が生じることがあります（結露）。結露が生じた場合は、結露がなくなるまで製品の電源を入れずにお待ちください。そのまま使用すると故障の原因となることがあります。

クリーニングの仕方

キャビネットや液晶パネル面の汚れは、やわらかい布に少量の水をしめらせて、やさしくふき取ってください。

注意点

- アルコール、消毒薬などの薬品は、キャビネットや液晶パネル面の光沢の変化、変色、色あせ、画質の劣化などにつながる恐れがあります。
- シンナー、ベンジン、ワックス、研磨クリーナは、キャビネットや液晶パネル面をいためるため絶対に使用しないでください。

参考

- キャビネットや液晶パネル面のクリーニングにはScreenCleaner（別売オプション品）をご利用いただくことをお勧めします。

モニターを快適にご使用いただくために

- 画面が暗すぎたり、明るすぎたりすると目に悪影響をおよぼすことがあります。状況に応じてモニター画面の明るさを調整してください。
- 長時間モニター画面を見続けると目が疲れますので、1時間に約10分の休憩を取ってください。

目次

モニターについて 3

クリーニングの仕方 4

モニターを快適にご使用いただくために 4

目次 5

第 1 章　はじめに 6

1-1.　特長 6

- 任意に設定可能なカスタムキー機能を搭載 6
- DisplayPort Alt Mode / USB Power Delivery対応 6
- カラーマネージメントソフトウェア「ColorNavigator 7」と写真プリント色合わせツール「Quick Color Match」に対応 6

1-2.　各部の名称と機能 7

- 前面 7
- 背面 8

1-3.　対応解像度 9

- DisplayPort 9
- HDMI 10
- USB Type-C 12

第 2 章　基本の設定 14

2-1.　スイッチの操作方法 14

- 操作ガイドのアイコン 14

2-2.　入力信号を切り替える 15

2-3.　表示モード（カラーモード）を切り替える 15

- モードの種類 15
- モードの設定値 16

第 3 章　カスタムキーの設定 17

3-1.　カスタムキーの基本操作方法 17

3-2.　カスタムキーの割り当て方法 17

- カスタムキーに割り当てられる機能 19

第 4 章　詳細な調整 / 設定 20

4-1.　設定メニューの基本操作方法 20

4-2.　設定メニューの各機能 21

- 信号設定 21
- カラー調整 23
- スクリーン 26
- 本体設定 27
- 言語選択 29
- インフォメーション 29

第 5 章　管理者向け設定 30

5-1.　「管理者設定」メニューの基本操作方法 30

5-2.　「管理者設定」メニューの各機能 31

第 6 章　トラブルシューティング 33

6-1.　画面が表示されない場合 33

6-2.　画面に関する症状 34

6-3.　その他の症状 35

第 7 章　スタンドの取り外し / 取り付け 36

7-1.　スタンド取り外し方法 36

7-2.　オプションアーム取り付け方法 37

7-3.　元のスタンドの取り付け方法 37

第 8 章　ご参考に 38

8-1.　ケーブルホルダーの取り付け方法/取り外し方法 38

8-2.　複数の外部機器を接続する 40

8-3.　USBハブ機能の使用方法 41

- 接続方法 41

8-4.　仕様 42

- オプション 43

付録 44

商標 44

ライセンス 44

VCCI 44

その他規格 45

アフターサービス 46

第 1 章　はじめに

この章では、モニターの特長と、各部の名称を説明します。

1-1. 特長

● 任意に設定可能なカスタムキー機能を搭載

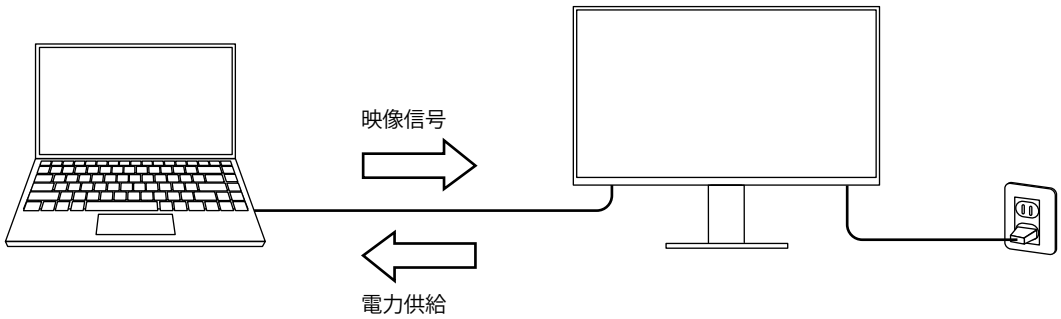
モニター前部にあるスイッチに頻繁に使用する機能を割り当てることで、作業効率を向上できます。
カスタムキーに割り当てられる機能は、次の機能です。

- 輝度
- カラーモードリターン
- インフォメーション

「第 3 章 カスタムキーの設定」（P.17）参照

● DisplayPort Alt Mode / USB Power Delivery対応

この製品はUSB Type-Cコネクタを搭載しており、映像信号の送信（DisplayPort Alt Mode）とUSB機器の充電（USB Power Delivery）に対応しています。
ノートPCの外部モニターとして使用しながら、ノートPCへ電力を最大60 W供給できます。



参考

- 充電機能を利用する場合は、接続機器がUSB Type-Cコネクタを搭載し、USB Power Deliveryによる充電機能に対応している必要があります。接続する機器によっては充電できない場合があります。
- 映像信号をUSB Type-Cで送信する場合は、接続機器がUSB Type-Cコネクタを搭載し、USB Type-Cによる映像信号送信機能に対応している必要があります。
- モニターが省電力モードの場合でも、接続している機器の充電ができます。

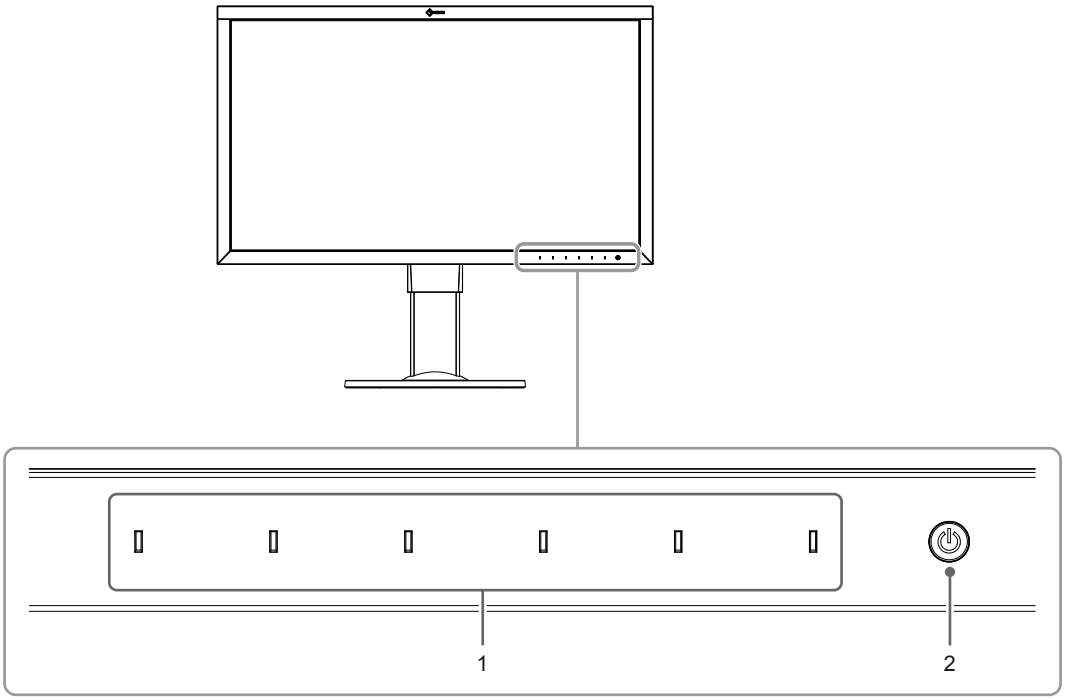
● カラーマネージメントソフトウェア「ColorNavigator 7」と写真プリント色合わせツール「Quick Color Match」に対応

この製品と、ColorEdgeシリーズ専用のソフトウェア「ColorNavigator 7」または「Quick Color Match」を使うと、モニターの性能を活かし、より便利にお使いいただけます。

- ColorNavigator 7
  センサーとColorNavigator 7 を使って、モニターのキャリブレーションや、調整目標の作成・編集ができます。センサーは、製品に付属されていないため、別途ご用意ください。
- Quick Color Match
  モニター画面と写真プリントの色合わせを簡単におこなうことができます。このソフトウェアに対応したプリンタやレタッチソフトウェアが必要です。

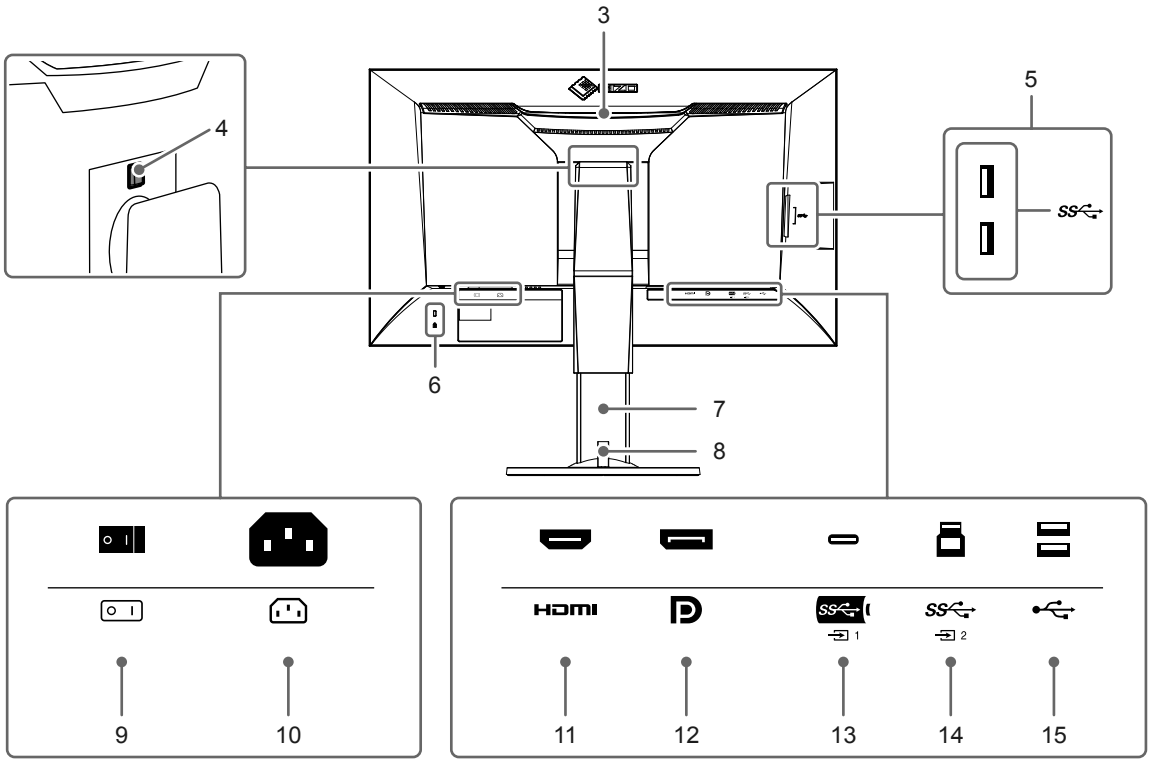
1-2. 各部の名称と機能

● 前面



1. 操作スイッチ	メニューを表示します。ガイドに従って操作します。 スイッチに触れるとメニューが表示されます。 電源を入れると、スイッチのランプが白色に点灯します。
2. 電源スイッチ	電源のオン / オフを切り替えます。 スイッチに触れると電源が入ります。 電源を入れると、スイッチのランプが点灯します。モニターの動作状態に応じてランプの色が変化します。 白　　：通常動作モード 橙　　：省電力モード 消灯　　：電源オフ

● 背面



3. 運搬用ハンドル	運搬用のハンドルです。 **注意点** • 運搬時にはハンドルと画面の下部をしっかりと持ち、モニターを落とさないようご注意ください。
4. ロックボタン	モニターからスタンドを取り外すときに使用します。
5. USB Type-Aコネクタ（USB ダウンストリームポート）	USBに対応している周辺機器と接続できます。USB 3.1 Gen 1に対応しています。青色のコネクタです。
6. 盗難防止用ロック	Kensington社製のMicroSaverセキュリティシステムに対応しています。
7. スタンド※1	高さと角度（チルト、スウィーベル）が調整できます。
8. ケーブルホルダー	ケーブルを収納します。ケーブルホルダーの取り付け方法は、「8-1. ケーブルホルダーの取り付け方法/取り外し方法」（P.38）を参照してください。
9. 主電源スイッチ	主電源のオン / オフを切り替えます。|：オン、◯：オフ
10. 電源コネクタ	電源コードを接続します。
11. HDMIコネクタ	HDMI出力のある外部機器を接続します。
12. DisplayPortコネクタ	DisplayPort出力のある外部機器を接続します。
13. USB Type-Cコネクタ（USB アップストリームポート）	USB Type-Cに対応した機器を接続します。
14. USB Type-Bコネクタ（USB アップストリームポート）	USB接続が必要なソフトウェア、USBハブ機能を使用する場合にUSBケーブルを接続します。青色のコネクタです。
15. USB Type-Aコネクタ（USB ダウンストリームポート）	USBに対応している周辺機器と接続できます。USB 2.0に対応しています。

※1 この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります（「7-2. オプションアーム取り付け方法」（P.37）参照）。

1-3. 対応解像度

この製品は次の解像度に対応しています。

● DisplayPort

解像度	スキャン※1	垂直走査周波数	Version 1.1※2	Version 1.2、Version 1.2 / YUV※2	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	RGB 4:4:4
640 × 480	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
640 × 480	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 400	P	70.087 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 480	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 480	P	59.941 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 480	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 576	P	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
800 × 600	P	60.317 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1024 × 768	P	60.004 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 720	P	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 720	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 720	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 960	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 1024	P	60.020 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1600 × 1200	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1680 × 1050	P	59.883 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1680 × 1050	P	59.954 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	23.976 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	24.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	25.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	29.970 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	30.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	I	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	I	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	59.963 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	I	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1200	P	59.885 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1200	P	59.950 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2048 × 1080	P	24.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2048 × 1080	P	48.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2048 × 1152	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	23.976 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	24.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	25.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	29.970 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	30.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1440	P	29.935 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1440	P	59.951 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1600	P	59.972 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	23.976 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	23.999 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	24.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit

解像度	スキャン※1	垂直走査周波数	Version 1.1※2	Version 1.2、Version 1.2 / YUV※2	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	RGB 4:4:4
3840 × 2160※3	P	24.989 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	25.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	29.970 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	29.981 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	30.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	50.000 Hz	-	○	8 bit	8 bit	8 bit
3840 × 2160※3	P	59.940 Hz	-	○	8 bit	8 bit	8 bit
3840 × 2160※3	P	59.997 Hz	-	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	60.000 Hz	-	○	8 bit	8 bit	8 bit

※1 P： プログレッシブ、I：インターレース
※2 「信号フォーマット」（P.32）の設定が必要です。
※3 推奨解像度です。

● HDMI

解像度	スキャン※1	垂直走査周波数	4K 30Hz※2	4K 60Hz、4K 60Hz / YUV※2	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0	RGB 4:4:4
640 × 480	P	59.940 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
640 × 480	P	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
720 × 400	P	70.087 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
720 × 480	P	59.940 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
720 × 480	I	59.940 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
720 × 480	P	59.941 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
720 × 480	P	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
720 × 480	I	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
720 × 576	P	50.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
720 × 576	I	50.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
800 × 600	P	60.317 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1024 × 768	P	60.004 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1280 × 720	P	50.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1280 × 720	P	59.940 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1280 × 720	P	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1280 × 960	P	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1280 × 1024	P	60.020 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1600 × 1200	P	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1680 × 1050	P	59.883 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit

解像度	スキャン※1	垂直走査周波数	4K 30Hz※2	4K 60Hz、4K 60Hz / YUV※2	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0	RGB 4:4:4
1680 × 1050	P	59.954 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	23.976 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	24.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	25.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	29.970 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	30.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	50.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	I	50.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	59.940 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	I	59.940 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	59.963 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	P	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1080	I	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1200	P	59.885 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
1920 × 1200	P	59.950 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2048 × 1080	P	24.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2048 × 1080	P	48.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2048 × 1152	P	60.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1080	P	23.976 Hz	-	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1080	P	24.000 Hz	-	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1080	P	25.000 Hz	-	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1080	P	29.970 Hz	-	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1080	P	30.000 Hz	-	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1080	P	50.000 Hz	-	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1080	P	59.940 Hz	-	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1080	P	60.000 Hz	-	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1440	P	29.935 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
2560 × 1440	P	59.951 Hz	○	-	8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	8 bit

解像度	スキャン※1	垂直走査周波数	4K 30Hz※2	4K 60Hz、4K 60Hz / YUV※2	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2	YCbCr 4:2:0	RGB 4:4:4
2560 × 1600	P	59.972 Hz	○	-	8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	8 bit
3840 × 2160※3	P	23.976 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	24.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	25.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	29.970 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	30.000 Hz	○	○	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	-	12 / 10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	50.000 Hz	-	○	8 bit	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	8 bit
3840 × 2160※3	P	59.940 Hz	-	○	8 bit	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	8 bit
3840 × 2160※3	P	60.000 Hz	-	○	8 bit	12 / 10 / 8 bit	12 / 10 / 8 bit	8 bit

※1 P： プログレッシブ、I：インターレース
※2 「信号フォーマット」（P.32）の設定が必要です。
※3 推奨解像度です。

● USB Type-C

解像度	スキャン※1	垂直走査周波数	4K 30Hz / USB3.1※2	4K 60Hz / USB2.0、4K 60Hz / USB2.0 / YUV※2	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2
640 × 480	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
640 × 480	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 400	P	70.087 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 480	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 480	P	59.941 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 480	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
720 × 576	P	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
800 × 600	P	60.317 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1024 × 768	P	60.004 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 720	P	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 720	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 720	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 960	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1280 × 1024	P	60.020 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1600 × 1200	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1680 × 1050	P	59.883 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1680 × 1050	P	59.954 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	23.976 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	24.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	25.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	29.970 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	30.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	I	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit

解像度	スキャン※1	垂直走査周波数	4K 30Hz / USB3.1※2	4K 60Hz / USB2.0、4K 60Hz / USB2.0 / YUV※2	YCbCr 4:4:4	YCbCr 4:2:2
1920 × 1080	I	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	59.963 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1080	I	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1200	P	59.885 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
1920 × 1200	P	59.950 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2048 × 1080	P	24.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2048 × 1080	P	48.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2048 × 1152	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	23.976 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	24.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	25.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	29.970 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	30.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	50.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	59.940 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1080	P	60.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1440	P	29.935 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1440	P	59.951 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
2560 × 1600	P	59.972 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	23.976 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	23.999 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	24.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	24.989 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	25.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	29.970 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	29.981 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	30.000 Hz	○	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	50.000 Hz	-	○	8 bit	8 bit
3840 × 2160※3	P	59.940 Hz	-	○	8 bit	8 bit
3840 × 2160※3	P	59.997 Hz	-	○	10 / 8 bit	10 / 8 bit
3840 × 2160※3	P	60.000 Hz	-	○	8 bit	8 bit

※1 P： プログレッシブ、I：インターレース
※2 「信号フォーマット」（P.32）の設定が必要です。
※3 推奨解像度です。

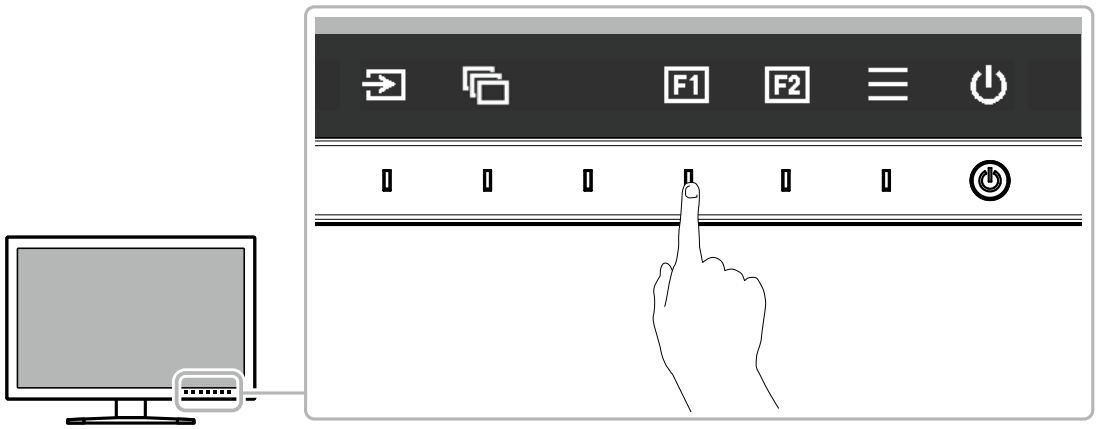
第 2 章　基本の設定

この章では、モニター前面のスイッチに触れることで設定できる基本の機能を説明します。
設定メニューを使って詳細に調整 / 設定する方法については、「第 4 章 詳細な調整 / 設定」（P.20）を参照してください。

2-1. スイッチの操作方法

1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのスイッチに触れます（⏻を除く）。
   画面にガイドが表示されます。



2. 設定

1. 設定したいスイッチに触れます。
   設定メニューが表示されます。
2. 各スイッチで調整 / 設定し、✓を選択して確定します。

3. 終了

1. ✕を選択してメニューを終了します。

参考

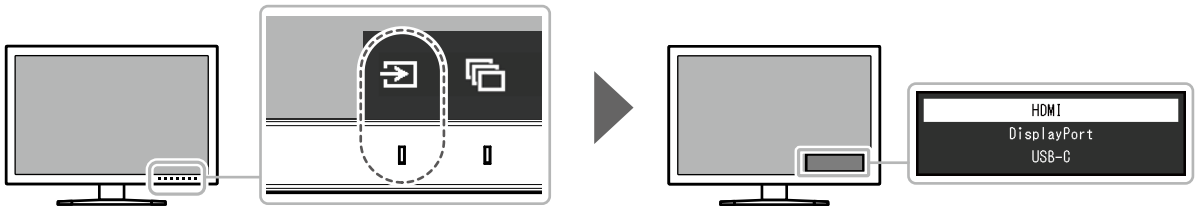
・ガイドの表示内容は、表示しているメニューや状態によって異なります。

● 操作ガイドのアイコン

アイコン	説明
	入力信号を切り替えます。
	カラーモードを切り替えます。
F1	カスタムキー1を実行します。
F2	カスタムキー2を実行します。
	設定メニューを表示します。
✕	ひとつ前の画面に戻ります。
< > ∧ ∨	カーソルを移動します。
✓	決定します。
⏻	モニターの電源のオン / オフを切り替えます。

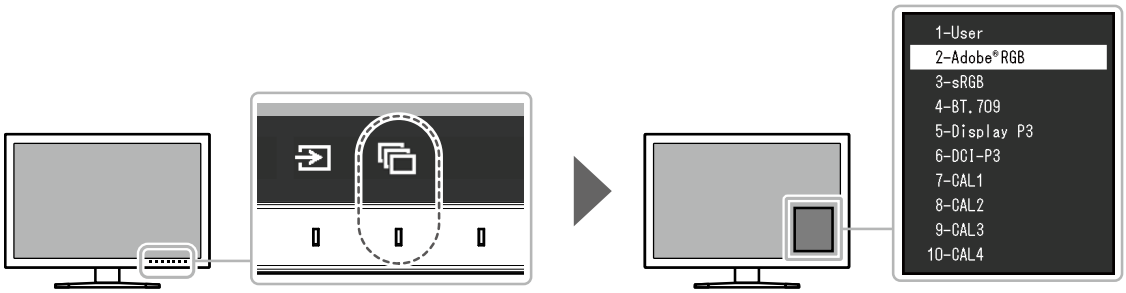
2-2. 入力信号を切り替える

モニターに複数の信号を入力している場合、画面に表示する信号を切り替えることができます。
いずれかのスイッチに触れ、 を選択し、 または ∧ ∨ を使って表示したい入力信号を選択してください。



2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える

モニターの用途に応じた表示モードに簡単に切り替えることができます。
いずれかのスイッチに触れ、 を選択し、 または ∧ ∨ を使って使用したいカラーモードを選択してください。



● モードの種類

カラーモード		目的
Standard Mode		モニターの設定メニューを使用して色の調整をおこなうモードです。 カラーマネージメントソフトウェア「ColorNavigator 7」を使用して、モニターの表示調整もできます。
	User	好みに応じた色設定をおこなう際に選択します。
	Adobe®RGB	Adobe®RGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
	sRGB	sRGB対応の周辺機器と色を合わせる場合に適しています。
	BT.709	ITU-RのBT.709規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
	Display P3	Apple Inc.が提唱するDisplay P3色空間で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。
	DCI-P3	DCI規格で定められた色域、ガンマを再現するのに適しています。

カラーモード		目的
Advanced Mode		カラーマネージメントソフトウェア「ColorNavigator 7」を使用して、モニターの表示調整をおこなうモードです。
	CAL1 CAL2 CAL3 CAL4	ColorNavigator 7による調整状態で表示します。 **参考** • 初期設定ではCAL2～CAL4は無効です。

● モードの設定値

項目	カラーモード									
	User	Adobe®RGB	sRGB	BT.709	Display P3	DCI-P3	CAL1	CAL2	CAL3	CAL4
輝度（cd/㎡）	100	120	120	100	100	48	—	—	—	—
色温度	6500 K	D65	D65	D65	D65	D65	—	—	—	—
ガンマ (EOTF)	2.2	2.2	sRGB	2.4	sRGB	2.6	—	—	—	—
色域	Native	Adobe®RGB	sRGB	BT.709	DCI-P3	DCI-P3	—	—	—	—
色域クリッピング	オフ	オフ	オフ	オン	オフ	オン	—	—	—	—

参考

- Advanced Mode（CAL1～CAL4）は、ColorNavigator 7を使用して設定します。モニター本体の設定メニューでは変更できません。
- カラーモードは、入力信号ごとに設定することができます。
- 特定のカラーモードを選択できないようにすることができます。詳細は、「モードスキップ」（P.28）を参照してください。

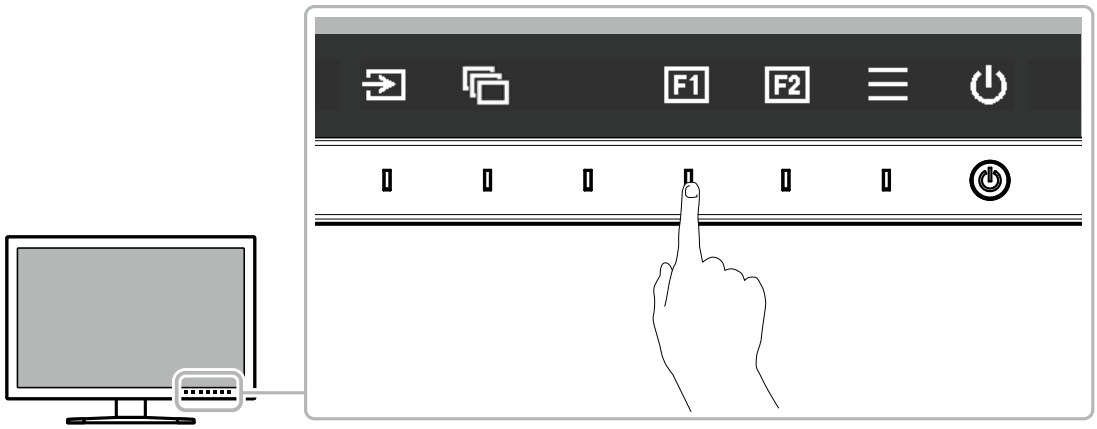
第 3 章　カスタムキーの設定

カスタムキーに機能を割り当てることで、特定の機能を簡単に起動することができます。
この章では、カスタムキーの操作方法とカスタムキーに機能を割り当てる方法を説明します。

3-1. カスタムキーの基本操作方法

1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのスイッチに触れます（⏻を除く）。
   操作ガイドが表示されます。



2. 実行

1. F1 または F2 を選択します。
   F1 または F2 に割り当てられた機能が実行されます。

参考

・カスタムキーに機能が割り当てられていない場合にカスタムキーに触れると、カスタムキーへの機能割り当てメニューが表示されます。

3-2. カスタムキーの割り当て方法

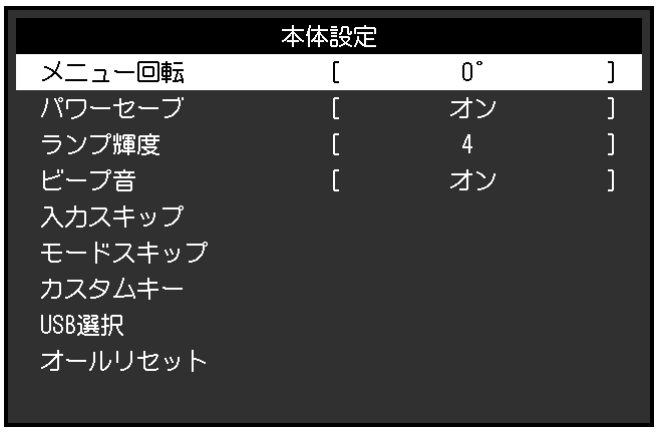
1. 操作ガイドの表示

1. いずれかのスイッチに触れます（⏻を除く）。
   操作ガイドが表示されます。

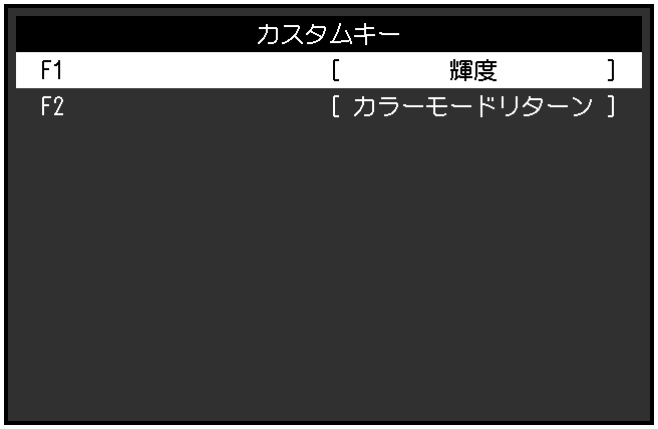
2. 設定

1. ☰ を選択します。
   設定メニューが表示されます。

2. ∧ ∨ で、「本体設定」を選択し、✓ を選択します。
本体設定メニューが表示されます。



3. ∧ ∨ で、「カスタムキー」を選択し、✓ を選択します。
カスタムキーメニューが表示されます。



4. ∧ ∨ で、機能を割り当てるカスタムキーを選択し、✓ を選択します。
割り当てる機能メニューが表示されます。

機能の詳細は、「カスタムキーに割り当てられる機能」（P.19）を参照してください。

5. ∧ ∨ で、割り当てる機能を選択し、✓ を選択します。
カスタムキーに機能が割り当てられます。

3. 終了

1. × を数回選択します。
設定メニューが終了します。

● カスタムキーに割り当てられる機能

機能	説明
オフ	カスタムキーに触れても動作しないようにします。
輝度	輝度を設定します。P.23を参照してください。
カラーモードリターン	前回使用していたカラーモードに戻ることができます。2つのカラーモード間で、表示の違いを確認する場合に便利です。 **注意点** • ColorNavigator 7を使用している場合は、ソフトウェア終了後にカラーモードを選択し直す必要があります。
インフォメーション	入力信号の情報、およびカラー情報を表示することができます。 表示される情報は次のとおりです。 1. 解像度　垂直走査周波数　色深度 2. カラーフォーマット　入力レンジ **参考** • モニターの情報は、設定メニューの「インフォメーション」（P.29）で確認することができます。

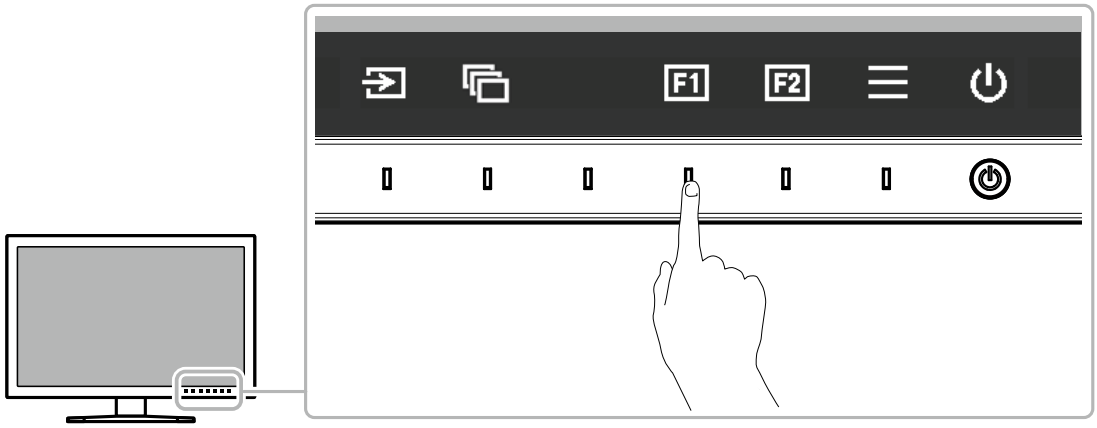
第 4 章　詳細な調整 / 設定

この章では、設定メニューを使ってモニターを詳細に調整 / 設定する方法を説明します。モニター前面のスイッチで設定できる基本的な機能については、「第 2 章 基本の設定」（P.14）を参照してください。

4-1. 設定メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. いずれかのスイッチに触れます（⏻を除く）。
   操作ガイドが表示されます。



2. ☰を選択します。
   設定メニューが表示されます。

2. 調整 / 設定

1. ∧ ∨ で、調整 / 設定したいメニューを選択し、✓を選択します。
   サブメニューが表示されます。

2. ∧ ∨ で、調整 / 設定したい項目を選択し、✓ を選択します。
   調整 / 設定メニューが表示されます。

3. < > で、調整 / 設定し、✓ を選択して確定します。
   サブメニューが表示されます。
   調整 / 設定中に × を選択すると、調整 / 設定を中止して変更前の状態に戻ります。

3. 終了

1. × を選択します。
   設定メニューが表示されます。
2. × を選択します。
   設定メニューが終了します。

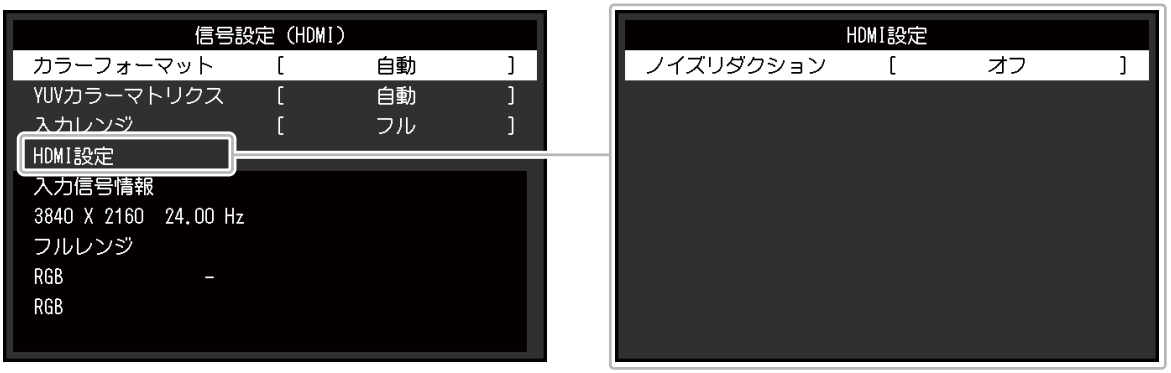
参考

・ガイドの表示内容は、表示しているメニューや状態によって異なります。

4-2. 設定メニューの各機能

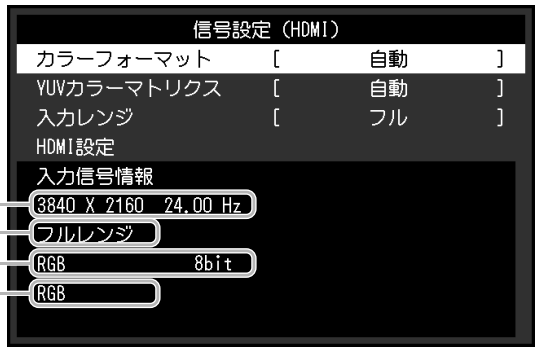
● 信号設定

画面の表示サイズやカラーフォーマットなど、入力信号の詳細を設定します。



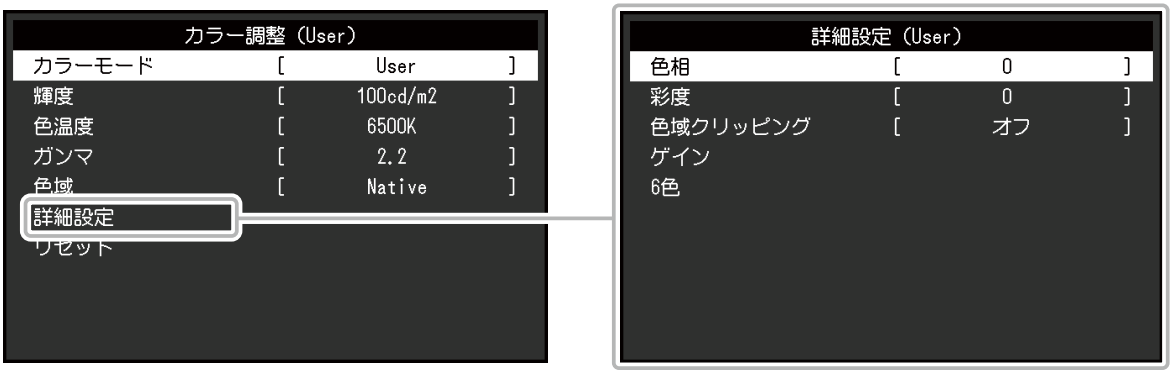
機能	設定値	説明
カラーフォーマット	自動 YUV※1 YUV 4:2:2※2 YUV 4:4:4※2 RGB	入力信号のカラースペースを指定できます。 正しい色が表示できない場合に、設定を変更してみてください。 通常は、「自動」を選択してください。

※1 DisplayPortまたはUSB Type-C入力の場合のみ有効
※2 HDMI入力の場合のみ有効

機能		設定値	説明
YUVカラーマトリクス		自動 BT.601 BT.709 BT.2020	入力信号のYUV形式を選択します。入力信号の問題で階調潰れなど正しく画像が表示できない場合に使用します。
入力レンジ		自動 フル リミテッド（109% 白） リミテッド	外部機器によっては、モニターに出力する信号のビデオレベルの黒および白が制限されていることがあります。制限されたままモニターに信号を表示すると、黒が淡く、白がくすんで表示され、コントラストが低下します。このような信号を、モニター本来のコントラスト比になるように、輝度レンジを拡張して表示することができます。 • 「自動」 入力信号の輝度レンジを自動的に判別し、適切に表示します。 • 「フル」 入力信号の輝度レンジの拡張をおこないません。 • 「リミテッド（109% 白）」 入力信号の輝度レンジを16～254（10ビット：64～1019）から0～255（10ビット：0～1023）に拡張して表示します。 • 「リミテッド」 入力信号の輝度レンジを16～235（10ビット：64～940）から0～255（10ビット：0～1023）に拡張して表示します。
HDMI設定	ノイズリダクション	オン オフ	映像の暗い部分に発生する細かいノイズを低減します。映像のノイズやざらつきを低減したい場合に使用します。 **参考** • HDMI入力の場合のみ設定できます。 • 次の解像度の信号を入力している場合は、「オン」に設定しても動作しません。 1600×1200 / 1920×1200 / 2048×1080 / 2048×1152 / 2560×1080 / 2560×1440 / 2560×1600 / 3840×2160 HDMIの対応解像度については、「HDMI」（P.10）を参照してください。 • ノイズリダクション機能を利用すると、精細な画像が損なわれる場合があります。
入力信号情報		ー	入力信号の情報を確認できます。 表示される情報は次のとおりです。 1. 解像度　垂直走査周波数 2. 入力レンジ 3. カラーフォーマット　色深度 4. カラリメトリ  **参考** • 入力信号によっては、表示されない情報があります。

● カラー調整

Standard Mode（User / Adobe®RGB / sRGB / BT.709 / Display P3 / DCI-P3）で表示している場合は、各カラーモードの色設定を、お好みに合わせて調整できます。



注意点

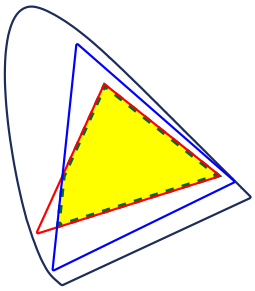
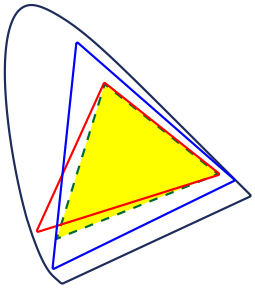
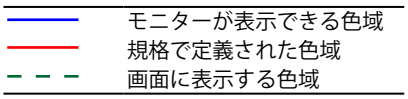
- モニターにはそれぞれ個体差があるため、複数台を並べると同じ画像でも異なる色に見える場合があります。複数台の色を合わせるときは、視覚的に判断しながら微調整してください。
- モニターの「カラー調整」メニューで設定値を変更すると、ColorNavigator 7には変更後の値が反映されます。

参考

- 「cd/m^2」、「K」表示は調整の目安としてご利用ください。

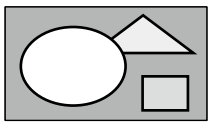
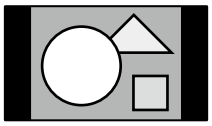
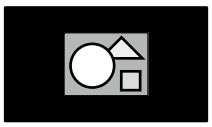
機能	設定値	説明
カラーモード	User Adobe®RGB sRGB BT.709 Display P3 DCI-P3 CAL1 CAL2 CAL3 CAL4	モニターの用途に応じた表示モードに切り替えます。 **参考** • 各モードの切り替え方法は、「2-3. 表示モード（カラーモード）を切り替える」（P.15）を参照してください。 • 初期設定ではCAL2～CAL7は無効です。有効にする場合は「モードスキップ」（P.28）を参照してください。
輝度	40cd/m^2～400cd/m^2	バックライト（液晶パネル背面の光源）の明るさを変化させて、画面の明るさを調整します。 **参考** • 設定できない値が選択されている場合は、値がマゼンタで表示されます。値を変更してください。
色温度	Native 4000 K～10000 K D50 D65 User	色温度を調整します。 「白」の色度を表現するときに用いられるもので、K：Kelvin（ケルビン）という単位で表します。 炎の温度と同様に、画面は色温度が低いと赤っぽく表示され、高いと青っぽく表示されます。 100K単位で色温度値を設定するか、規格名を選択します。 **参考** • 「Native」を選択すると、液晶パネル本来の色（ゲインの値はRGB各100 %）で表示されます。 • 「ゲイン」でさらに詳細な調整が可能です。ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。 • 色温度の設定値ごとにゲインのプリセット値が設定されています。

機能	設定値	説明
ガンマ	1.6～2.7 sRGB	ガンマ値を調整します。 モニターは入力される信号によって明るさが変化しますが、この変化率は入力信号と単純な比例関係にありません。そのため入力信号と明るさの関係が一定の関係になるよう制御をおこなうことをガンマ補正といいます。 ガンマ値を設定するか、規格名を選択します。
色域	Native Adobe®RGB sRGB BT.709 DCI-P3	モニターの色再現域（色域）を設定します。 表現できる色の範囲を「色域」といい、複数の規格が定義されています。 **参考** • 「Native」を選択すると、液晶パネル本来の色域で表示されます。 • 定義された色域のうち、モニターが表示できない範囲の色の表示方法を設定することができます。詳細は、「色域クリッピング」（P.25）を参照してください。

機能		設定値	説明
詳細設定	色相	-100～100	色相を調整します。 **参考** • この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。
	彩度	-100～100	彩度を調整します。 **参考** • この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 • 最小値（-100）で白黒の画面となります。
	色域クリッピング	オン オフ	「色域」（P.24）で設定した色域のうち、モニターが表示できない範囲の色の表示方法を設定できます。 • 「オン」 モニターが表示できる範囲の色は、規格に合わせて正確に表示します。表示できない範囲の色は飽和します。  • 「オフ」 色の正確性よりも、階調性を重視して表示します。規格で定義された色域の頂点を、モニターが表示できる範囲に移動します。これにより、モニターが表示できる最も近い色で表示します。   **参考** • 上図は概念図であり、製品の実際の色域を示すものではありません。 • この設定は「色域」（P.24）で「Native」を選択すると無効になります。
	ゲイン	0～2000	色を構成する赤、緑、青のそれぞれの明るさをゲインと呼びます。これを調整することで、「白」の色度を変更することができます。 **参考** • この機能を使用することによって、すべての色階調を表示できないことがあります。 • 色温度の値に応じてゲインの値が変わります。 • ゲインの値を変更すると、色温度は「User」になります。
	6色	-100～100	Magenta、Red、Yellow、Green、Cyan、Blueの色相、彩度、および明度（明るさ）を個別に調整します。
リセット		OK キャンセル	現在選択しているカラーモードのカラー調整値を初期設定に戻します。

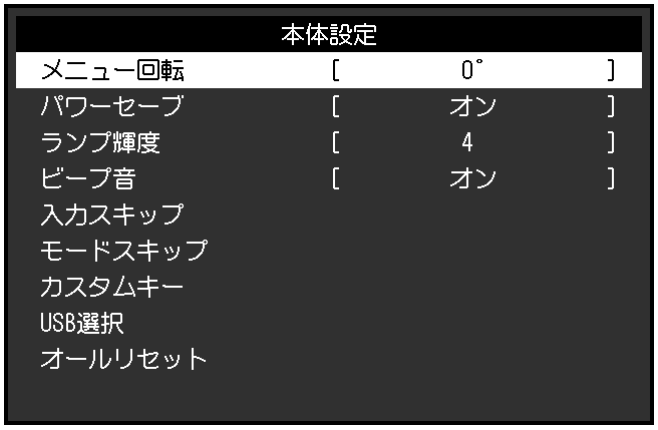
● スクリーン

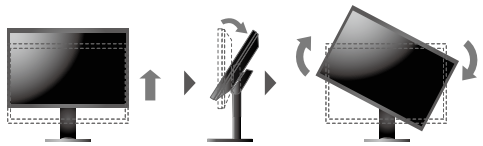
画面の表示サイズを設定します。

機能	設定値	説明
画面拡大	自動 フルスクリーン アスペクト比固定 等倍	モニター画面に表示するサイズを切り替えることができます。 • 「自動」 入力信号の解像度情報とアスペクト比情報に応じて、自動的に表示サイズを切り替えます（HDMI入力のみ有効）。 • 「フルスクリーン」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率は縦、横一定とは限らないため、表示画像に歪みが見られる場合があります。 • 「アスペクト比固定」 画面全体に画像を表示します。ただし、拡大比率を縦、横一定にするため、水平、垂直のどちらかの方向に画像が表示されない部分が残る場合があります。 • 「等倍」 設定した解像度のまま、または入力信号のままの大きさで画像が表示されます。 **参考** • 設定例 - フルスクリーン  - アスペクト比固定  - 等倍（入力信号） 

● 本体設定

使用環境やお好みに合わせて、モニター本体の設定をおこないます。



機能	設定値	説明
メニュー回転	0˚ 90˚	設定メニューの向きを設置方向に合わせて変更することができます。 **参考** • モニターを縦表示するためには、縦表示対応のグラフィックスボードが必要です。モニターを縦表示にした場合、ご使用のグラフィックスボードの設定を変更する必要があります。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。当社のWebサイトもあわせて参照してください（www.eizo.co.jp/i/rotation）。 • モニターを縦表示で使用する場合は、いったんスタンドの上限まで画面を引き上げて上向き（チルト）にしてから、モニターを回転してください。 
パワーセーブ	オン オフ	外部機器の状態と連動して、モニターを省電力モードにすることができます。 信号が入力されなくなったことを検出してから、約15秒後に省電力モードに移行します。省電力モードに移行すると、画面を非表示にします。 • 省電力モードからの復帰方法 - モニターに信号が入力されると、自動的に復帰し画面が表示されます。 **参考** • 省電力モードの移行の5秒前になると、移行をお知らせするメッセージが表示されます。 • モニターを使用しないときは、主電源スイッチをオフにすることで電力が消費されなくなります。 • 省電力モードの場合も、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
ランプ輝度	オフ 1～7	画面表示時の電源スイッチおよび操作スイッチの明るさを設定することができます。（初期設定：4）
ビープ音	オン オフ	スイッチを操作したときの操作音を設定することができます。

<table>
<tr><th colspan="2">機能</th><th>設定値</th><th>説明</th></tr>
<tr><td colspan="2">入力スキップ</td><td>スキップ
ー</td><td>入力信号を切り替えるときに、使用しない入力信号をスキップすることができます。
参考
• すべての入力信号を「スキップ」にすることはできません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">モードスキップ</td><td>スキップ
ー</td><td>モードを選択するときに、使用しないモードをスキップすることができます。表示するモードが限定されている場合や、表示状態をむやみに変更したくない場合にご利用ください。
参考
• すべてのモードを「スキップ」にすることはできません。</td></tr>
<tr><td>カスタムキー</td><td>[F1]
[F2]</td><td>オフ
輝度
カラーモードリターン
インフォメーション</td><td>[F1]および[F2]スイッチに割り当てる機能を設定することができます。
参考
• 初期設定では、[F1]スイッチに「輝度」機能が、[F2]スイッチに「カラーモードリターン」が設定されています。
• カスタムキーについては、<a>「第 3 章 カスタムキーの設定」（P.17）を参照してください。</td></tr>
<tr><td>USB選択</td><td>HDMI
DisplayPort
USB-C</td><td>USB-1(USB-C)
USB-2</td><td>1台のモニターに2台のコンピュータを接続している場合、入力信号とUSBアップストリームポートを関連づけることができます。これにより、入力信号の切り替えに連動して、USBポートが自動的に切り替わります。2台のコンピュータで1台のモニターをキャリブレーションする場合でもUSBケーブルを接続し直す必要はありません。また、マウスやキーボードなどのUSB機器をモニターに接続して2台のコンピュータで使用することができるようになります。
入力信号によって、初期設定値が異なります。
<table>
<tr><th>入力信号</th><th>初期設定値</th></tr>
<tr><td>HDMI、DisplayPort</td><td>USB-2</td></tr>
<tr><td>USB Type-C</td><td>USB-1(USB-C)</td></tr>
</table>
参考
• 設定を変更する際は、モニターにUSBメモリーなどの記憶装置を接続している場合、記憶装置を取り外してから設定を変更してください。データの消失、破損の恐れがあります。
• キーボードのキー配列を変更することはできません。
• USBダウンストリームポートは、表示中のコンピュータで動作します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">オールリセット</td><td>OK
キャンセル</td><td>次の設定を除く、すべての設定内容を初期設定に戻します。
• 「管理者設定」メニュー内の設定
• 「本体設定」メニュー内の「USB選択」</td></tr>
</table>

● 言語選択

メニューやメッセージの表示言語を選択することができます。

設定値

英語、ドイツ語、フランス語、スペイン語、イタリア語、スウェーデン語、日本語、簡体中国語、繁体中国語

● インフォメーション

モニターの情報（製品名、製造番号(S/N)、ファームウェアバージョン、使用時間）と、入力信号の情報を確認することができます。

例：

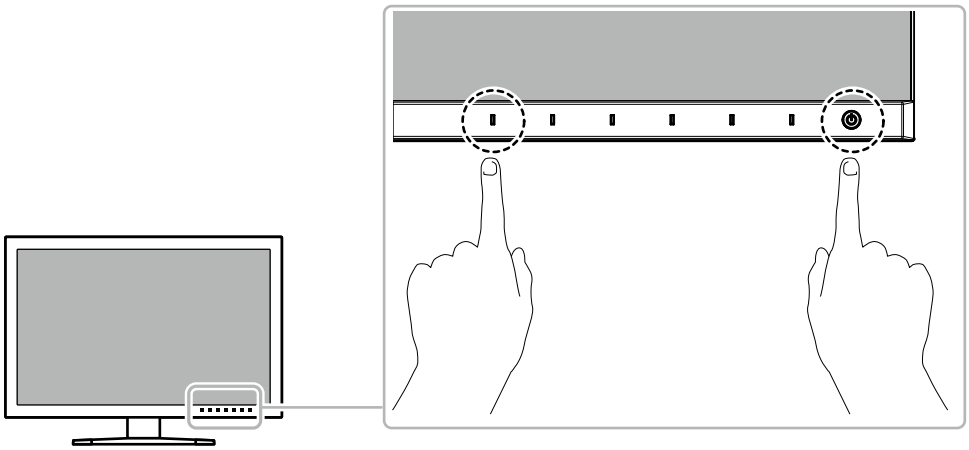
第 5 章　管理者向け設定

この章では、「管理者設定」メニューを使ってモニターの動作を設定する方法を説明します。

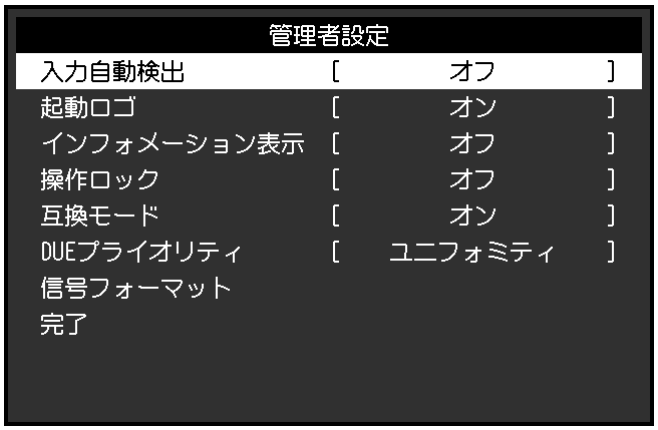
5-1. 「管理者設定」メニューの基本操作方法

1. メニューの表示

1. ⏻に触れて、モニターの電源を切ります。
2. 一番左側のスイッチに触れながら、⏻を2秒以上触れてモニターの電源を入れます。



「管理者設定」メニューが表示されます。



2. 設定

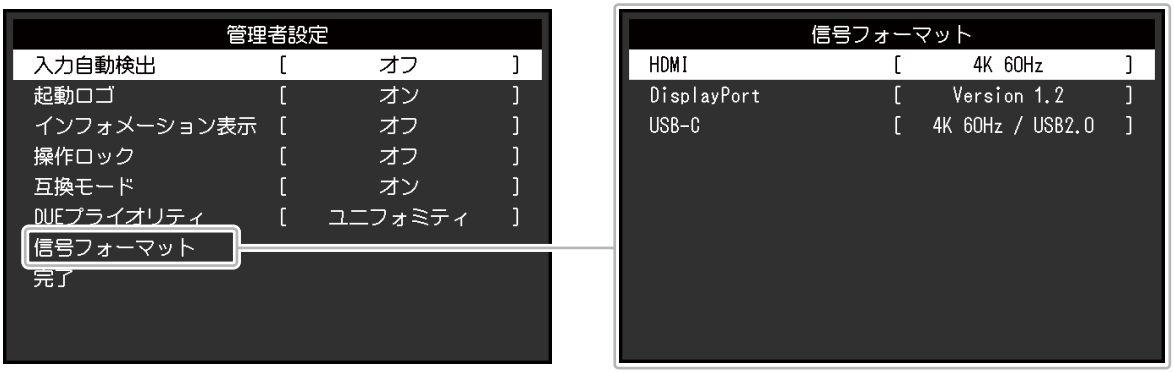
1. ∧ ∨ で、設定したい項目を選択し、✓ を選択します。
   調整 / 設定メニューが表示されます。

2. < > で、設定し、✓ を選択します。
   「管理者設定」メニューが表示されます。

3. 確定と終了

1. 「完了」を選択し、✓を選択します。
   設定が確定し、「管理者設定」メニューが終了します。

5-2. 「管理者設定」メニューの各機能



機能	設定値	説明
入力自動検出	オフ オン	この機能を「オン」に設定すると、信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することができます。選択しているコネクタの入力信号がなくなると、自動的に他の信号を表示します。 「オフ」に設定すると、信号が入力されているかどうかにかかわらず、選択しているコネクタからの信号が表示されます。この場合は、モニター前面の操作スイッチ（⏎）で、表示する入力信号を選択してください。
起動ロゴ	オフ オン	この機能を「オフ」に設定すると、製品の電源を入れた際に表示されるEIZOロゴを非表示にすることができます。
インフォメーション表示	オフ オン	この機能を「オン」に設定すると、信号またはカラーモードを切り替えたときに入力信号の詳細な情報が表示されます。 表示される情報は次のとおりです。 • 解像度 • 垂直走査周波数 • 入力レンジ • カラーフォーマット • 色深度 「オフ」に設定すると、信号またはカラーモードを切り替えたときに詳細情報を表示しません。
操作ロック	オフ メニュー オール	設定した状態を変更できないように、モニター前面の操作スイッチをロックすることができます。 • 「オフ」（初期設定） すべてのスイッチが有効です。 • 「メニュー」 ☰スイッチをロックします。 • 「オール」 電源スイッチを除くすべてのスイッチをロックします。
互換モード	オフ オン	次の現象を回避したい場合は、この機能を「オン」に設定してください。 • モニターの電源をオフ / オンした場合や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる。 • コンピュータのパワーセーブ機能が正常に動作しない。

機能		設定値	説明
DUEプライオリティ		ユニフォミティ ブライトネス	この製品には、デジタルユニフォミティ補正（DUE）機能が搭載され、画面の表示ムラを低減しています。このDUE設定を変更できます。 • 「ユニフォミティ」 表示ムラの低減を重視します。 • 「ブライトネス」 高輝度、高コントラストを重視します。 **参考** • DUEの設定を変更する場合、画面調整をしているモニターは、画面の再調整が必要になります。キャリブレーションをやりなおしてください。
信号フォーマット	HDMI	4K 30Hz 4K 60Hz 4K 60Hz / YUV	モニターが表示できる信号の種類を切り替えることができます。入力信号が表示されない場合や意図した表示ができない場合に設定を変更してください。 **参考** • 「USB-C」を設定すると、モニターが表示できる信号の種類と、USBの設定を切り替えることができます。
	DisplayPort	Version 1.1 Version 1.2 Version 1.2 / YUV	
	USB-C	4K 30Hz / USB3.1 4K 60Hz / USB2.0 4K 60Hz / USB2.0 / YUV	

第 6 章　トラブルシューティング

6-1. 画面が表示されない場合

症状	原因と対処方法
1. 画面が表示されない ・電源ランプが点灯しない	・電源コードは正しく接続されていますか。 ・背面の主電源スイッチを入れてください。 ・⏻に触れてください。 ・背面の主電源スイッチを切り、数分後にもう一度スイッチを入れてみてください。
・電源ランプが点灯：白色	・設定メニューの「輝度」、「ゲイン」の各調整値を上げてみてください（「カラー調整」（P.23）参照）。
・電源ランプが点灯：橙色	・入力信号を切り替えてみてください。 ・マウス、キーボードを操作してみてください。 ・外部機器の電源は入っていますか。 ・背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。
・電源ランプが点滅：橙色、白色	・外部機器をDisplayPortコネクタまたはUSB Type-Cコネクタに接続している場合に、この症状が発生することがあります。当社指定の信号ケーブルで接続し、モニターの電源を入れ直してみてください。
2. 次のようなメッセージが表示される	この表示はモニターが正常に機能していても、信号が正しく入力されていないときに表示されます。
・信号が入力されていない場合の表示です。 例： 	・外部機器によっては電源を入れても信号がすぐに出力されないため、左のような画面が表示されることがあります。 ・外部機器の電源は入っていますか。 ・信号ケーブルは正しく接続されていますか。 ・入力信号を切り替えてみてください。 ・背面の主電源スイッチを切り、もう一度スイッチを入れてみてください。 ・「管理者設定」メニューの「信号フォーマット」を変更してみてください（「信号フォーマット」（P.32）参照）。
・入力されている信号が周波数仕様範囲外であることを示す表示です。 例： 	・外部機器の設定が、この製品で表示できる解像度、垂直走査周波数になっていますか（「1-3. 対応解像度」（P.9）参照）。 ・外部機器を再起動してみてください。 ・グラフィックスボードのユーティリティなどで、適切な設定に変更してください。詳細は、グラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。
・USB Type-C コネクタに接続している外部機器が映像信号の出力に対応していない場合の表示です。 例： 	・当社指定の信号ケーブルで接続されていますか。 ・接続している機器のUSB Type-Cポートが映像信号の出力に対応していますか。詳細は、機器メーカーへお問い合わせください。 ・DisplayPort ケーブルまたはHDMI ケーブルで接続してください。

6-2. 画面に関する症状

症状	原因と対処方法
1. 画面が明るすぎる / 暗すぎる	• 設定メニューの「輝度」を調整してください（「カラー調整」（P.23）参照）。液晶モニターのバックライトには、寿命があります。画面が暗くなったり、ちらついたりするようになったら、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。
2. 残像が現れる	• この現象は液晶パネルの特性であり、固定画面で長時間使用することをできるだけ避けることをお勧めします。 • 長時間同じ画像を表示する場合は、コンピュータのスクリーンセーバーまたはパワーセーブ機能を使用してください。
3. 画面に緑、赤、青、白のドットが残る / 点灯しないドットが残る	• これらのドットが残るのは液晶パネルの特性であり、故障ではありません。
4. 画面上に干渉縞が見られる / 液晶パネルを押した跡が消えない	• 画面全体に白い画像または黒い画像を表示してみてください。症状が解消されることがあります。
5. 画面にノイズが現れる	• HDCP方式の信号を入力した場合、正常な画面がすぐに表示されないことがあります。
6. 電源のオフ / オン時や省電力モードからの復帰時に、ウィンドウやアイコンの位置がずれる	• 「管理者設定」メニューの「互換モード」で、設定を「オン」にしてください（「互換モード」（P.31）参照）。
7. 画面の色がおかしい	• 設定メニューの「カラーフォーマット」を変更してみてください（「カラーフォーマット」（P.21）参照）。 • HDMI信号入力の場合、「管理者設定」メニューの「信号フォーマット」を変更してみてください（「信号フォーマット」（P.32）参照）。
8. 画面全体に画像が表示されない	• 設定メニューの「画面拡大」を変更してみてください（「画面拡大」（P.26）参照）。 • 「管理者設定」メニューの「信号フォーマット」を変更してみてください（「信号フォーマット」（P.32）参照）。 • 解像度が推奨解像度（3840×2160）に設定されていますか。設定についてはグラフィックスボードの取扱説明書を参照してください。

6-3. その他の症状

症状	原因と対処方法
1. 設定メニュー / モードメニューが表示できない	• 操作スイッチのロックが機能していないか確認してみてください（「操作ロック」（P.31）参照）。 • ColorNavigator 7のメインウィンドウを表示している場合は操作スイッチがロックされています。ソフトウェアを終了してください。
2. USBケーブルで接続したモニターが認識されない / モニターに接続しているUSB周辺機器が動作しない	• USBケーブルは正しく接続されていますか（「8-3. USBハブ機能の使用方法」（P.41）参照）。 • USBアップストリームポートが正しく選択されていますか（「USB選択」（P.28）参照）。 • 外部機器の別のUSBポートに差し替えてみてください。 • モニターの別のUSBポートに差し替えてみてください。 • 外部機器を再起動してみてください。 • 直接外部機器と周辺機器を接続してみて、周辺機器が正しく動作した場合は、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。 • ご使用の外部機器およびOSがUSBに対応しているかご確認ください（各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください）。 • ご使用のUSB 3.1ホストコントローラーによっては、接続したUSB機器を正しく認識できない場合があります。各メーカーが提供する最新のUSB 3.1ドライバに更新するか、USB 2.0ポートとモニターを接続してください。 • Windowsをご使用の場合、外部機器に搭載されているBIOSのUSBに関する設定をご確認ください（詳細は外部機器の取扱説明書を参照してください）。
3. 音声を出せない	• この製品はスピーカーが搭載されていません。

第 7 章　スタンドの取り外し / 取り付け

7-1. スタンド取り外し方法

この製品はスタンド部分を取り外すことができます。

注意点

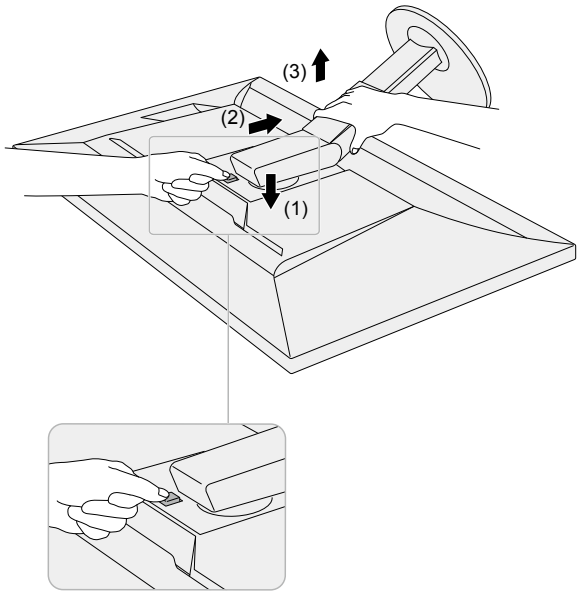
- 取り外したスタンドを昇降させないでください。モニター本体を取り付けていない状態でスタンドを昇降させると、けがや故障の原因となります。
- モニターおよびスタンドは重いため、落としたりするとけがや故障の原因になります。

1. 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷き、液晶パネル面を下に向けて置きます。

2. スタンド部分を取り外します。

ロックボタンを強く押しながら（**1**）、スタンド支柱をしっかりと持って、スタンドを台座方向にスライドします（**2**）。

スタンドを固定しているツメが外れるため、スタンドを取り外してください（**3**）。



7-2. オプションアーム取り付け方法

この製品はスタンド部分を取り外すことによって、オプションアーム（またはオプションスタンド）に取り付けることが可能になります。対応しているオプションアーム（またはオプションスタンド）については、当社のWebサイトを参照してください。www.eizo.co.jp

注意点

- 取り付けの際は、アームまたはスタンドの取扱説明書の指示に従ってください。
- 他社製のアームまたはスタンドを使用する場合は、次の点をアームまたはスタンドメーカーにご確認の上、VESA規格準拠のものを選択してください。取り付けには本製品に付属のVESAマウント取り付け用ねじをご使用ください。
  - 取付部のねじ穴間隔：100mm×100mm
  - アームまたはスタンドのVESAマウント部外観寸法：122mm×122mm以下
  - プレート部の厚み：2.6mm
  - 許容質量：モニター本体の質量（スタンドなし）とケーブルなどの装着物の総質量に耐えられること
- アームまたはスタンドを使用する場合は、次の範囲（チルト角）で使用してください。
  - 上45˚下45˚
- ケーブル類は、アームまたはスタンドを取り付けた後に接続してください。
- モニターおよびアームまたはスタンドは重いため、落としたりするとけがや故障の原因になります。
- 縦置きに設置する場合は、モニター画面を時計回りに90˚回転してください。

1. モニターにアーム（またはスタンド）を取り付けます。

本製品に付属のVESAマウント取り付け用ねじを使って取り付けます。

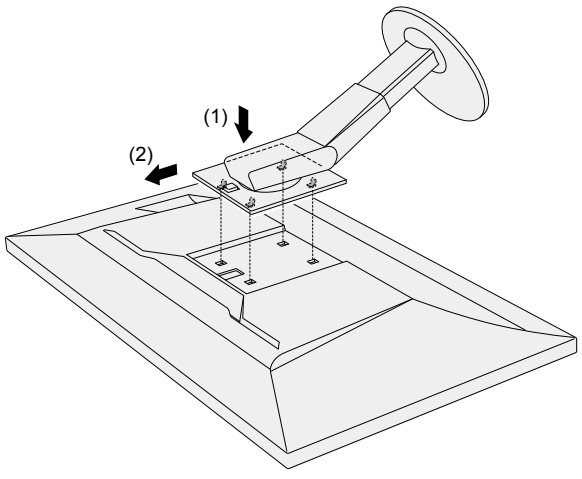
7-3. 元のスタンドの取り付け方法

1. 液晶パネル面が傷つかないよう、安定した場所に柔らかい布などを敷き、液晶パネル面を下に向けて置きます。

2. オプションアーム（またはオプションスタンド）を固定しているねじを外し、オプションアーム（またはオプションスタンド）を取り外します。

3. 元のスタンドを取り付けます。

スタンドのツメ（4つ）を、モニター背面の四角い穴に合わせて入れ（**1**）、スタンドを、モニター上部の方向へ、カチッと音がするまでスライドしてください（**2**）。



第 8 章　ご参考に

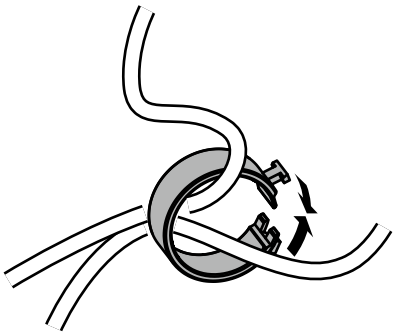
8-1. ケーブルホルダーの取り付け方法/取り外し方法

この製品にはケーブルホルダーが付属しています。モニターに接続したケーブル類を配線する際に利用してください。

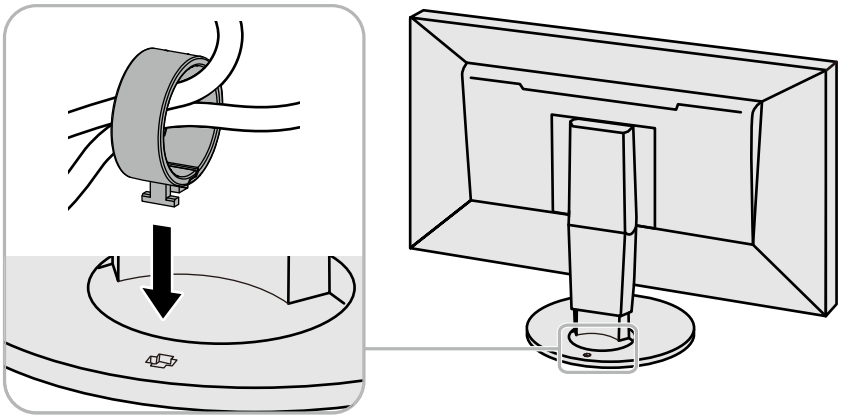
取り付け方法

1. **ケーブルホルダーにケーブルを通します。**

2. **ケーブルホルダーの開口部を締めます。**

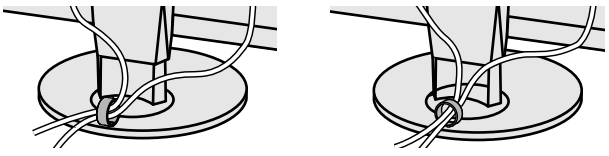


3. **その状態のまま、スタンドに差し込みます。**



参考

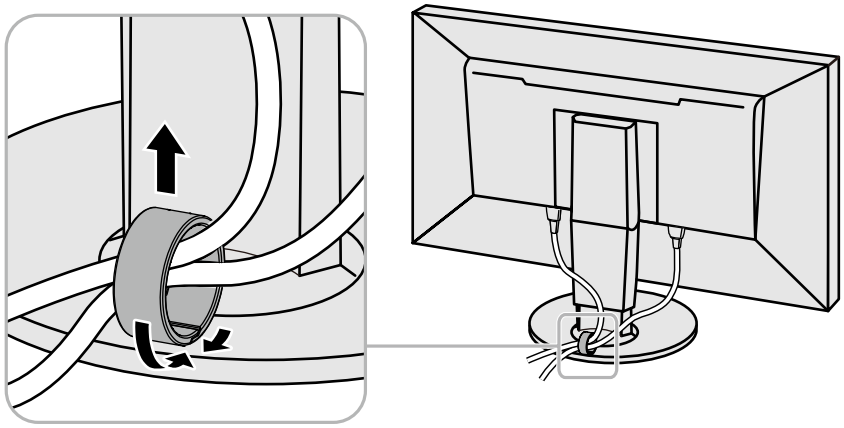
・ケーブルホルダーは縦、横のどちらの方向にも差し込むことができます。ケーブルの配線状況に応じて、ケーブルホルダーの向きを変えてください。



取り外し方法

1. **ケーブルホルダーの開口部を締めます。**

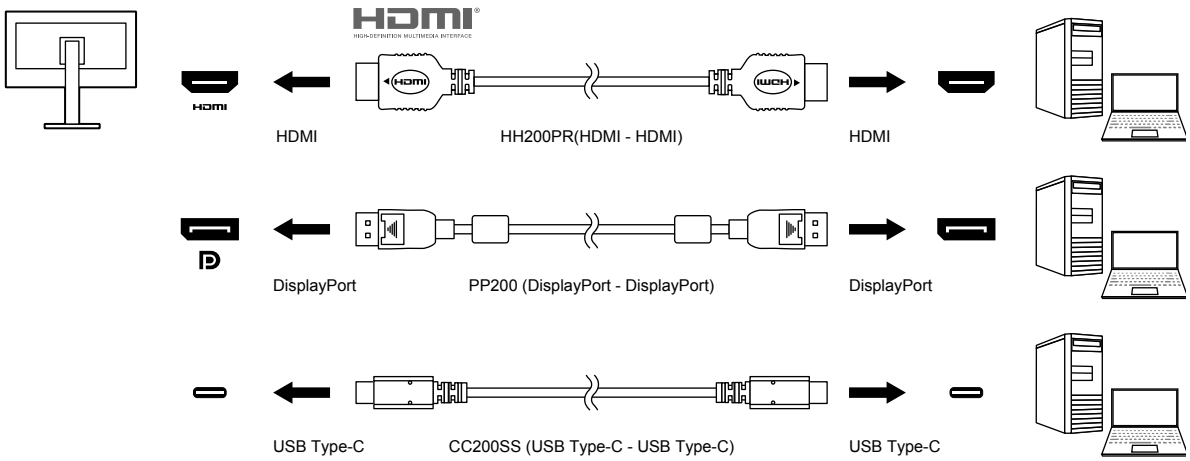
2. **その状態のまま、スタンドからケーブルホルダーを抜き取ります。**



8-2. 複数の外部機器を接続する

この製品は、複数の外部機器を接続し、切り替えて表示することができます。

接続例



参考

- モニター前面の操作スイッチ（ ）に触れるたびに入力信号が切り替わります。詳細は、「2-2. 入力信号を切り替える」（P.15）を参照してください。
- 信号が入力されているコネクタを自動的に判別して画面を表示することもできます。詳細は、「入力自動検出」（P.31）を参照してください。

8-3. USBハブ機能の使用方法

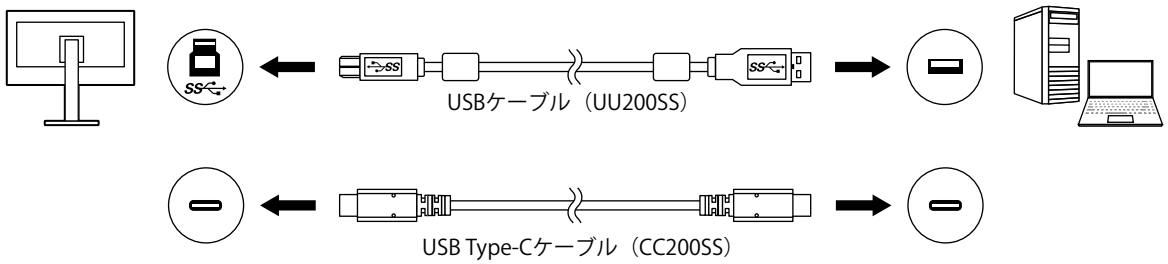
この製品はUSBハブを搭載しています。USB対応の外部機器に接続することにより、この製品がUSBハブとして機能し、USBに対応している周辺機器と接続できます。
USBハブ機能は、USBケーブル（UU200SS）とUSB Type-Cケーブル（CC200SS）の両方に対応しています。

● 接続方法

1. USB対応の外部機器のUSBダウンストリームポートと、モニターのUSBアップストリームポート（USB Type-BコネクタまたはUSB Type-Cコネクタ）に接続します。

   USB Type-Bコネクタに接続する場合は、USBケーブルを使用します。

   USB Type-Cコネクタに接続する場合は、USB Type-Cケーブルを使用します。



   モニターのUSB Type-B コネクタまたはUSB Type-Cコネクタの位置については、「背面」（P.8）を参照してください。

参考

- 有効になるUSBアップストリームポート（USB Type-BコネクタまたはUSB Type-Cコネクタ）は入力信号によって異なります。接続中のUSBアップストリームポートが無効の場合は、「USB選択」（P.28）の設定を変更してください。

2. USB対応の周辺機器をモニターのUSBダウンストリームポートに接続します。

注意点

- 使用する外部機器、OSおよび周辺機器によっては動作しない場合があります。各機器のUSB対応については各メーカーにお問い合わせください。
- モニターのUSB Type-Cコネクタは、USBダウンストリームポートとしては動作しません。
- モニターが省電力モードの場合も、USBダウンストリームポートに接続している機器は動作します。そのためモニターの消費電力は、省電力モードであっても接続される機器によって変化します。
- 主電源スイッチオフ時、USBダウンストリームポートに接続されている機器は動作しません。

参考

- この製品はUSB 3.1 Gen 1に対応しています。周辺機器とモニター背面部の側面にあるUSB Type-Aコネクタ（青色のコネクタ）をUSB 3.1 Gen 1に対応しているUSBケーブルで接続すると、高速のデータ通信が可能になります。
- 周辺機器がUSB 2.0に対応している場合は、モニター背面部の底面にあるUSB Type-Aコネクタ（黒色のコネクタ）に接続すると、USB 2.0として使用できます。

8-4. 仕様

液晶パネル	種類		IPS（アンチグレア）
	バックライト		広色域LED
	サイズ		68.4 cm（26.9）型
	解像度		3840ドット×2160ライン
	表示面積（横×縦）		596.2 mm×335.3 mm
	画素ピッチ		0.155 mm×0.155 mm
	画素密度		164 ppi
	表示色		約10億7374万色（10 bitカラー）
	視野角（水平 / 垂直、標準値）		178˚ / 178˚
	コントラスト比（標準値）		1000：1（「DUEプライオリティ」：「ブライトネス」設定時）
	応答時間（標準値）		黒→白→黒：16 ms 中間階調域：10 ms
	色域表示（標準値）		NTSC比 103 % Adobe®RGBカバー率 99 %
映像信号	入力端子		USB Type-C（DisplayPort Alt Mode、HDCP 1.3対応）×1 DisplayPort（HDCP 1.3対応）×1 HDMI（HDCP 1.4、HDCP 2.2、Deep Color対応）※1×1 ※1 HDMI CEC機能（相互制御機能）には対応していません。
	水平走査周波数		USB Type-C（DisplayPort Alt Mode）：25 kHz～137 kHz DisplayPort：25 kHz～137 kHz HDMI：15 kHz～135 kHz
	垂直走査周波数		USB Type-C（DisplayPort Alt Mode）：23 Hz～61 Hz （720×400時：69 Hz～71 Hz） DisplayPort：23 Hz～61 Hz（720×400時：69 Hz～71 Hz） HDMI：23 Hz～61 Hz（720×400時：69 Hz～71 Hz）
	フレーム同期モード		23.75 Hz～30.5 Hz、47.5 Hz～61.0 Hz
	ドットクロック（最大）		USB Type-C（DisplayPort Alt Mode）：598.3 MHz DisplayPort：598.3 MHz HDMI：600 MHz
USB	ポート	アップストリーム	USB Type-C（USB 5Gbps）×1 USB Type-B（USB 5Gbps）×1
		ダウンストリーム	USB Type-A（USB 5Gbps）×2 USB Type-A（USB 2.0）×2
	規格		USB Specification Revision 3.1 Gen 1 USB Specification Revision 2.0
	通信速度		5 Gbps（スーパースピード）※2、480 Mbps（ハイスピード）、12 Mbps（フルスピード）、1.5 Mbps（ロースピード） ※2 ダウンストリーム（USB 2.0）は、5 Gbpsに対応していません。
	供給電源	アップストリーム	USB Type-C（USB 5Gbps）：最大60 W
		ダウンストリーム	USB Type-A（USB 5Gbps）：最大900 mA/1ポート USB Type-A（USB 2.0）：最大500 mA/1ポート
電源	電源入力		AC 100 V±10 %、50 / 60 Hz 1.70 A
	最大消費電力		168 W以下
	省電力時消費電力		1.0 W以下（DisplayPort入力のみ、互換モード：オフ、USB機器非接続時）
	待機時消費電力		1.0 W以下（入力信号なし、互換モード：オフ、USB機器非接続時）

機構	外観寸法	高さ最小	638 mm×404.1 mm×265 mm（幅×高さ×奥行） （チルト角度0˚時）
		高さ最大	638 mm×570 mm×269.1 mm（幅×高さ×奥行） （チルト角度35˚時）
	外観寸法（モニター部）		638 mm×378.2 mm×75 mm（幅×高さ×奥行）
	質量		約10.3 kg
	質量（モニター部）		約6.7 kg
	昇降		155 mm（チルト角度0˚時）/ 145 mm（チルト角度35˚時）
	チルト		上35˚、下5˚
	スウィーベル		344˚
	縦回転		時計回り90˚
動作環境条件	温度		0˚C～35℃
	湿度		20 %～80 %（R.H.,結露なきこと）
	気圧		540 hPa～1060 hPa
輸送/保存環境条件	温度		-20˚C～60˚C
	湿度		10 %～90 %（R.H.,結露なきこと）
	気圧		200 hPa～1060 hPa

● オプション

オプション品に関する最新情報は、当社のWebサイトを参照してください（www.eizo.co.jp）。

付録

商標

HDMI、HDMI High-Definition Multimedia InterfaceおよびHDMIロゴは、HDMI Licensing, LLCの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
DisplayPortコンプライアンスロゴ、VESAはVideo Electronics Standards Associationの登録商標です。
SuperSpeed USB Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の登録商標です。

USB Power Delivery Trident LogoはUSB Implementers Forum, Inc.の商標です。

DICOMは、National Electrical Manufacturers Associationが所有する、医用情報のデジタル通信に関する規格の登録商標です。
Kensington、MicrosaverはACCO Brands Corporationの登録商標です。
ThunderboltはIntel Corporationの米国および/またはその他の国における商標です。
Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
AdobeはAdobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の米国およびその他の国における登録商標です。
Apple、macOS、Mac OS、OS X、Macintosh、ColorSyncはApple Inc.の登録商標です。
ENERGY STARは米国環境保護庁の米国およびその他の国における登録商標です。
EIZO、EIZOロゴ、ColorEdge、CuratOR、DuraVision、FlexScan、FORIS、RadiCS、RadiForce、RadiNET、Raptor、ScreenManagerはEIZO株式会社の日本およびその他の国における登録商標です。
ColorEdge Tablet Controller、ColorNavigator、EcoView NET、EIZO EasyPIX、EIZO Monitor Configurator、EIZO ScreenSlicer、G-Ignition、i･Sound、Quick Color Match、RadiLight、Re/Vue、SafeGuard、Screen Administrator、Screen InStyle、ScreenCleaner、UniColor ProはEIZO株式会社の商標です。
その他の会社名、商品名およびロゴマークは各社の商標または登録商標です。

ライセンス

この製品上で表示される文字には、リコーインダストリアルソリューションズ株式会社が制作したビットマップフォントを使用しています。

VCCI

この装置は、クラスB機器です。この装置は、住宅環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
また、製品の付属品（ケーブルを含む）や当社が指定する別売オプション品を使用しない場合、VCCIの技術基準に適合できない恐れがあります。

VCCI-B

その他規格

この装置は、社団法人 電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。

この装置は、高調波電流を抑制する日本工業規格JIS C 61000-3-2に適合しております。

アフターサービス

この製品のサポートに関してご不明な場合は、別紙「お客様ご相談窓口のご案内」に記載の窓口にお問い合わせください。

保証書について

この製品の保証書はセットアップガイドにあります。必要事項をご記入の上、購入日が分かる書類（レシートなど）とともに保管してください。

修理を依頼されるとき

保証期間中の場合

保証書の規定に従い、修理または交換をさせていただきます。

保証期間を過ぎている場合

修理範囲（サービス内容）、修理費用の目安、修理期間、修理手続きなどを説明いたします。

修理を依頼される場合にお知らせいただきたい内容

- お名前、ご連絡先の住所、電話番号 / FAX番号
- お買い上げ年月日、販売店名
- 製品名、製造番号（製造番号は、本体の背面部のラベルに表示されている8桁の番号です。例：S/N 12345678）
- 使用環境（コンピュータ / グラフィックスボード / OS、システムのバージョン / 表示解像度など）
- 故障または異常の内容（できるだけ詳細に）
- エラーコード（画面に表示された場合）

製品回収、リサイクルシステムについて

パソコン及びパソコン用モニターは「資源有効利用促進法」の指定再資源化製品に指定されており、メーカーは自主回収及び再資源化に取り組むことが求められています。当社は、使用済みモニターの回収、リサイクル体制を構築しており、お客様がこの製品をご使用後に廃棄する際は次の要領でお引き取りしています。なお、詳細な情報については、当社のWebサイトもあわせて参照してください。（www.eizo.co.jp）

法人のお客様

この製品は、法人のお客様が使用後産業廃棄物として廃棄される場合、有償で一般社団法人「パソコン3R推進協会」がお引き取りいたします。当社のWebサイトよりお申し込みください。（www.eizo.co.jp）

個人のお客様

- **PCリサイクルマークの無償提供について**

  この製品は、PCリサイクル対象製品です。当社では、この製品をご購入いただいた個人のお客様にPCリサイクルマークを無償でご提供しております。ご購入後すぐに、当社のWebサイトよりお申し込みください。（www.eizo.co.jp）

  マークは本体背面部のラベルの近くに貼り付けてください。

一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センター
EIZO Webサイト：www.eizo.co.jp/support/recycle/personal/index.html
※「PCリサイクルマーク申込」からお入りください。
（回収担当窓口は、一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センターにて対応いたします。）

申し込みには、本体の背面部のラベル上に記載されている製品名と製造番号が必要となります。

- **PCリサイクルマークについて**

個人のお客様が、このマークが付いた当社製品の回収を一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センターにご依頼いただいた場合は、お客様に料金を負担いただくことなく回収、再資源化いたします。

- **お問い合わせ**

本件に関するお問い合わせは、一般社団法人　パソコン3R推進協会内　パソコンリサイクル受付センターまでお願いいたします。

一般社団法人　パソコン3R 推進協会内　パソコンリサイクル受付センター
電話：044-540-0576
月曜日～金曜日（祝日および同センター指定の休日を除く）10：00～17：00

00N0N639AZ
UM-CS2740-Z

Copyright © 2025 EIZO Corporation. All rights reserved.

1st Edition - July, 2025